

科目名	義肢装具研究法 I			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制1年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
義肢装具及び関連領域に関する研究を行うにあたり、身体機能の測定及び評価方法を中心に学ぶ。							
〔授業全体の内容の概要〕							
講義・・・計測機器の概要説明、取り扱い説明。グループワーク・・・計測、データ解析、プレゼンテーション							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕							
運動及び動作等の客観的評価方法を身につける。特に卒業研究に必要な計測機器の使用方法などを習得する。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション・講義(力の合成と分解、)生体におけるテコ)						
2	計測機器DEMO(バイコン)						
3	計測機器DEMO(ゼブリス・Fscan)						
4	講義(歩行の観察 OGIGの方法)						
5	演習グループによる歩行分析①						
6	演習グループによる歩行分析②						
7	講義(重心の求め方、)重心の速度・加速度)						
8	演習グループによる歩行分析③						
9	演習グループによる歩行分析④						
10	講義(床反力と重心加速度、床反力作用点(COP)とは何か)						
11	演習グループによる歩行分析⑤						
12	演習グループによる歩行分析⑥						
13	講義(関節モーメントと筋活動、関節モーメントのパワー)						
14	演習グループによる歩行分析⑦						
15	演習グループによる歩行分析⑧						
16	演習グループによる歩行分析⑨						
17	演習グループによる歩行分析⑨						
18	演習グループによる歩行分析⑨						
19	演習グループによる歩行分析⑨						
20	演習グループによる歩行分析⑨						
21	演習グループによる歩行分析⑨						
22	演習グループによる歩行分析⑨						
23	演習グループによる歩行分析⑨						
24	演習歩行分析プレゼン						
25	装具を利用した計測機器の説明①						

2023 年度

授業概要

科目名	義肢装具研究法 I				授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間	(2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制1年		必修・選択	必修
回数	講義内容								
26	装具を利用した計測機器の説明②								
27	装具を利用した計測機器の説明③								
28	装具を利用した計測機器の説明④								
29	装具を利用した計測機器の説明⑤								
30	装具を利用した計測機器の説明⑥								

【 準備学習・時間外学習 】

特になし

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
配布資料		

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

課題評価による認定(プレゼン+レポート提出)